

## 電子ガムテープディスペンサー (カートンサイズ検知センサー仕様) GTD-500TL

### 取扱説明書 保証書付

このたびは、当社 電子テープディスペンサーをお買い上げいただきありがとうございます。はじめに取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。記載されている保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。

## 1 はじめに

水糊式ガムテープは、貼り付け面に水を塗布することで粘着力が生じるガムテープです。この取扱説明書では、水糊式ガムテープを“ガムテープ”とし説明、記載しています。※水糊式ガムテープは、布粘着ガムテープや梱包用クラフトテープとは、全く異なりますのでご注意ください。本製品では、梱包用布粘着ガムテープやクラフト粘着テープを使用できません。

### <本製品の特長>

本製品 GTD-500TL は、“水糊式ガムテープ専用の電動テープディスペンサー GTD-500”に“タッチレス機能”を備えたモデルです。対象物(箱)を“ベルトスイッチ”に押し当てるとセンサーが測距し箱寸法の大小に関わらず、最適な長さでガムテープを送り出し(テープ長：15~180cm まで)貼り付け面に自動で水が塗布される仕組みです。

## 2 安全上のご注意

### 2.1 安全にお使いいただくために

この取扱説明書および商品は、商品を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示の意味は次のようになっています。

⚠ 警告	「死亡または重傷を負う可能性がある内容」です。
⚠ 注意	「障害を負う可能性や、物的損害の発生が予想される内容」です。
■お守りいただく内容の図記号表示について	
⊘	「してはいけないこと」です。
●	「実行しなければいけないこと」です。

⊘ 禁止	機械部に手や指を入れないでください。けがの原因になります。
⊘ 禁止	電源が ON の時に可動部に触れないでください。けがをする恐れがあります。
⊘ 禁止	紙や布などを本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。故障・発火などの原因になります。
⊘ 禁止	水・湿気・ホコリの多い場所で使用しないでください。感電・故障などの原因になります。
⊘ 禁止	ぐらついたり、傾いている不安定な場所で使用しないでください。落下するなどしてけがの原因になります。
⊘ 禁止	自分で分解・修理・改造はしないでください。故障・発火などの原因になります。
⊘ 禁止	機械部に棒などを差し込まないでください。破損・故障することがあります。

⊘ 禁止	工業用油やシンナー・ベンジンなどで製品本体を拭かないでください。破損することがあります。
⊘ 禁止	強い衝撃を与えないでください。火災・破損などの原因になります。
⚠ 注意	本体を持ち運ぶ場合は、必ず本体底面を持って運んでください。落とした場合、けがをすることがあります。
⊘ 禁止	電源プラグ・コード・コンセントが傷んだり、ゆるんだり、ホコリが詰まったまま使用しないでください。火災などの原因になります。
🔄	部品交換や設置場所を移動するときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。誤ってキーを押すと作動して危険です。
⊘ 禁止	引火性のものの近くで使用しないでください。(可燃性ガススプレー等を含む)発火することがあります。
⊘ 禁止	AC100V 以外の電源では使用しないでください。火災・感電・けがの原因になります。

## 保守・点検・サービス

■有償にて承ります。  
弊社製品を末永くご使用いただくために、定期的なメンテナンス、消耗部品の交換が不可欠です。有償にて修理、メンテナンスサービスを承っております。修理お預かり期間(目安)は5日間です。サービスの詳細は販売店、または株式会社エクトにお問い合わせください。

ホームページ: [www.ectinc.co.jp](http://www.ectinc.co.jp)

メールアドレス: [info@ectinc.co.jp](mailto:info@ectinc.co.jp)

## 2.2 使用上のご注意

機械のトラブルを避け本機の故障を未然に防止するために下記の事項を必ずお守りください。  
・故障のまま本機を使用しないでください。(使用中や保管時に異臭を感じたり、発熱・変色変形、その他)  
・今までと異なることに気がついたときは、電源プラグをコンセントから抜き、すぐに使用を中止してください。  
・大きな容量を必要とする機器(冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA 機器等)とコンセントは共用しないでください。  
・ご購入時の状態を維持するため、定期メンテナンス、消耗品の交換が必要です。

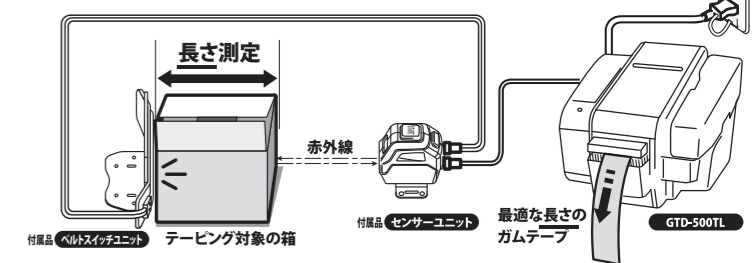
■トラブルの原因になりますので、温度が5℃以上、40℃以下の範囲内で使用、保管してください。

## 2.3 設置について

本機は、平らな場所や安定した場所に設置してください。本機は、屋内で使用する機械です。明るい場所(センサーの機能を妨げる明るさ)に設置しないでください。直射日光が当たる高温になる場所への設置は行わないでください。想定される対象(箱)の寸法に対し、十分な作業スペースを確保してください。作業台は平らで安定し、十分な強度を担保していることをご確認ください。ベルトスイッチユニットとセンサーユニットが真っすぐに向き合うように設置してください。設置方法の詳細は、別紙の付属センサー取扱説明書をお読みください。

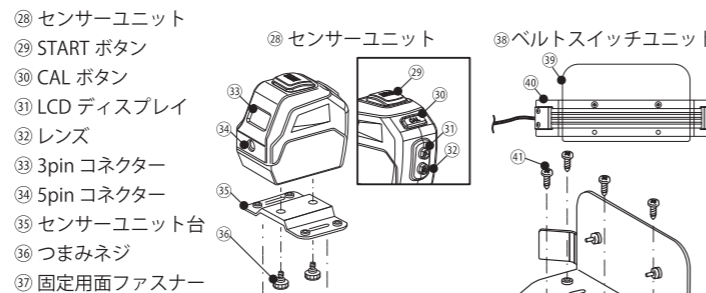
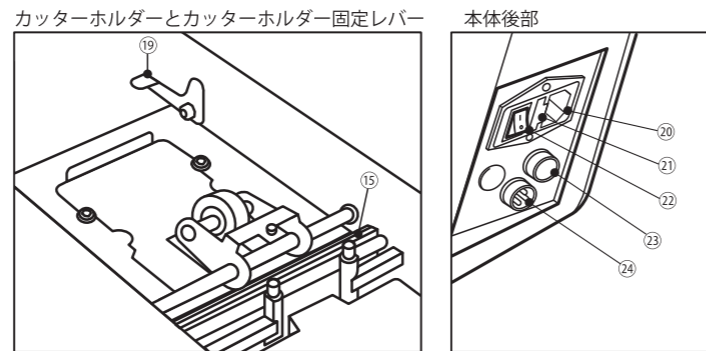
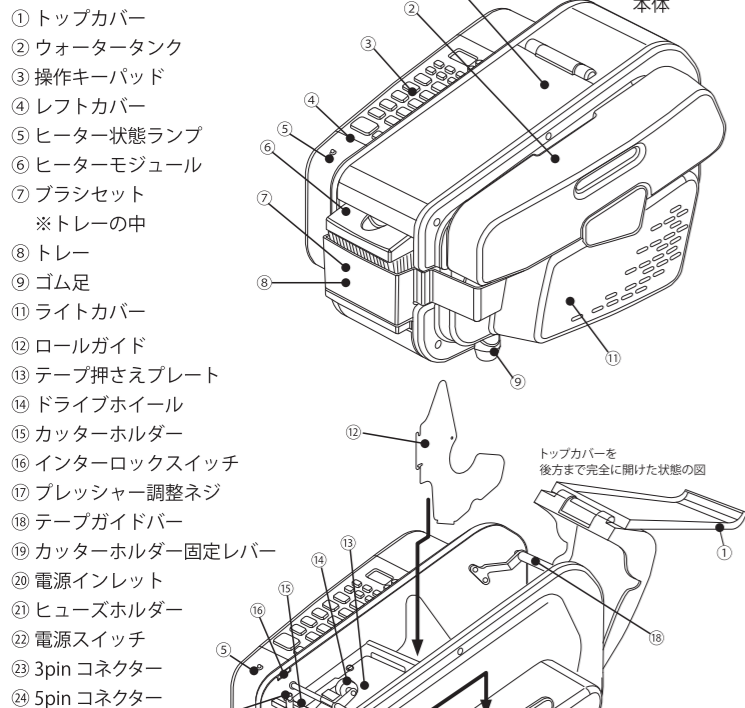
⚠ 注意	電源スイッチが ON のままの場合、誤って作動して危険です。必ず電源スイッチが OFF であることを確認してください。
------	---

<設置例>

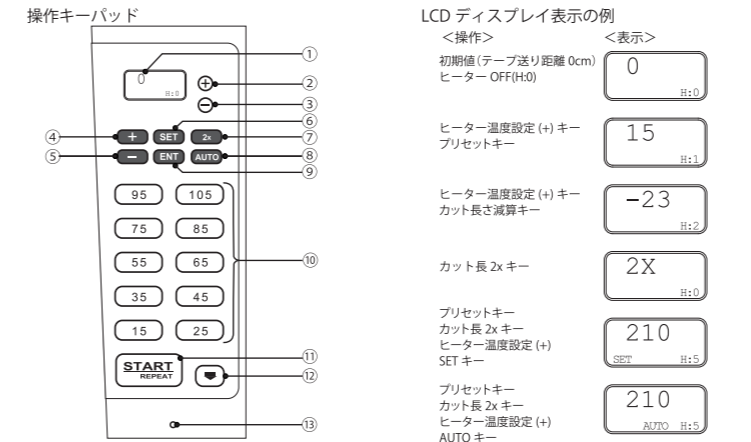


## 3 ご使用になる前に

### 3.1 各部の名称



### 3.2 本体操作部の名称と機能



① LCD ディスプレイ	設定カット長、現在のモード、ヒーター設定を表示します。
② ヒーター温度設定 (+) キー	ヒーターを OFF から ON に切り替えます。温度を上げます。
③ ヒーター温度設定 (-) キー	ヒーター温度を下げます。ヒーター電源を ON から OFF に切替えます。
④ カット長加算 (+) キー	プリセットカット長を 1cm 単位で増加させます。
⑤ カット長減算 (-) キー	プリセットカット長を 1cm 単位で減少させます。
⑥ SET キー	メモリー設定終了
⑦ カット長 2x キー	プリセットカット長を 2 倍にします。
⑧ AUTO キー	オートフィード機能(送り出し、カット)を開始します。
⑨ ENT キー	メモリー設定開始
⑩ プリセットキー	プリセットされた数値の cm 長さに送り出しカット。
⑪ START/REPEAT キー	ディスプレイに表示されている数値の cm 長さにテープを送り出し、カットします。ただし、メモリー設定時には表示されている cm 長さではなく、1 番目に設定した cm 長さから送り出し、カットします。
⑫ フリーカットキー FEED キー	長押しの間は送り出し、キーから指を離すとカット。
⑬ ヒーター状態ランプ	赤色点灯=ヒーター ON 状態、消灯=ヒーター OFF 状態

※メモリーをリセットする場合は、電源スイッチを OFF にするか、トップカバーを開け開めると設定値はリセットされます。

## 4 ご使用方法

### 4.1 セットアップ方法

⚠ 注意	付属の電源コードを使用してください。
------	--------------------

電源スイッチが OFF であることを確認してください。  
① 同梱の電源コードセットのアース端子を接地接続してください。

⚠ 警告	アース(接地)について 接地接続は必ず、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。故障や漏電のときに、感電事故を起こすおそれがあります。アース端子は、以下のような場所には接続しないでください。ガス管; 爆発や引火の原因になります。避雷管; 電話線; 落雷のときに危険です。水道管; 感電の原因になります。途中がプラスチックになっている場合は、アースになりません。
------	--

⚠ 注意	本体の電源スイッチを OFF にしてください。電源スイッチが ON のままでもコンセントに接続した場合、誤ってキーを押したとき作動して危険です。
------	--

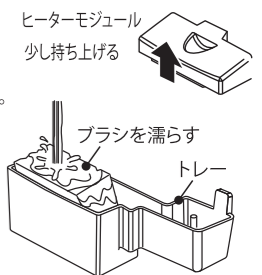
② 電源プラグをコンセントへ、コネクタを本体インレットへ接続してください。

⚠ 注意	設置場所を移動する場合は、電源を OFF にし、両手で本体の底を持って移動、設置してください。
------	---

③ ウォータータンクを外してください。  
④ ヒーターモジュールを手で少し持ち上げながらトレーを手前に外し、ブラシの毛先とブラシ全体を水道水でまんべんなく濡らし、元の位置に戻してください。



トレーの脱着は、ヒーターモジュールを手で少し持ち上げながら行ってください。
---------------------------------------

⑤ ウォータータンクに水道水を入れ、本体にセットしてください。





※本機を使用すると、ウォータータンク内の水は徐々に減ります。タンクが空になる前に水を補充してください。

	本体機構部、及び基板、電子部品は防水仕様ではありません。誤って本体を水で濡らしてしまった場合は、電源を OFF にし、濡れた箇所を拭き取り、乾燥させてからご使用ください。濡れたままの状態 で電源スイッチを ON にしないでください。感電の恐れがあります。
	トレーに水が入ったまま本体ごと持たないでください。トレーからこぼれ出た水が本体内部に侵入する恐れがあります。

### 4.2 テープのセット方法

電源スイッチが OFF であることを確認してください。

①トップカバーを後方まで完全に開けてください。

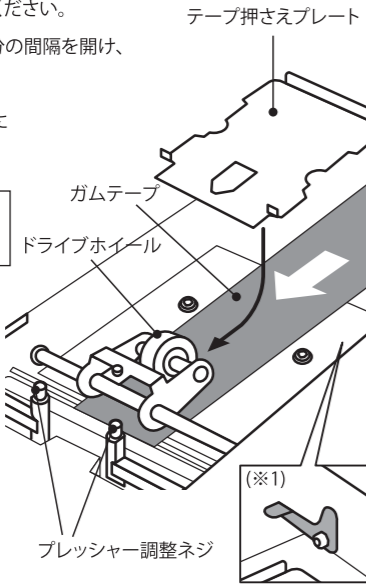
②ロールガイド 2 枚は、ガムテープ 1 巻分の間隔を開け、細長い長方形穴に差し込んでください。

③ロールガイド 2 枚の間に挟まれるようにガムテープ 1 巻をセットしてください。

カッターホルダー固定レバーが原点位置にあることを確認してください。(※1)


④テープガイドバーを経由し、テープ押さえプレートの下にテープを通してください。

⑤トップカバーを開め、電源スイッチを ON にしてください。



## 5 メンテナンス

### 5.1 お手入れ

 本製品のメンテナンスを行う際は、必ず電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。


●ウォータータンク、トレイ： カビ着防止の為、定期的に水洗いし乾燥させてください。

●ブラシセット： カビ着防止の為、定期的に水洗いし乾燥させてください。使用に伴い、毛先が摩耗し短くなったり、毛先の形が倒れる場合があります。その場合は、新品と交換してください。


●カッター刃： カッターホルダー固定レバーを上に起こし、カッター刃を上に上げ、定期的にカッター刃を乾いた布で拭き、綿棒等で刃先を清掃してください。

●テープ経路： テープ経路にガムテープが詰まった場合は、トレーを外しピンセットで除去してください。テープが貼りついた場合は、アルコールを塗布した布で除去してください。

●本体カバー： 乾いた布で拭いてください。

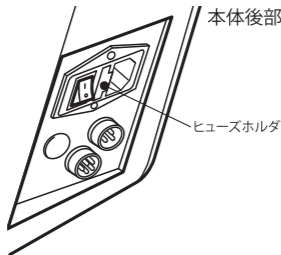
 工業用機械油、シンナー、ベンジンなどで拭かないでください。破損、変質などの恐れがあります。

### 5.2 ヒューズ交換

 指定以外のヒューズを使用しないでください。故障や発火の原因になります。

ヒューズホルダーは、マイナスドライバー等を使用し、ゆっくりと外してください。

適合ヒューズ： ガラス管φ5.2×20  
定格電圧 250V 定格電流 3A  
溶断特性： NR 普通溶断形 、 B 種



⑥ヒーター温度設定 (+) を押し、ヒーターを ON『H:1 ~ H:5 表示』にしてください。
※ヒーターの温度設定については、「4.3 ヒーターモジュール」を参照してください。


⑦プレッシャー調整ネジ 2 個は、調整済の状態で工場出荷されています。万一、送り出しの動作が左右不均一だったり、テープ詰まりが発生した場合は、プレッシャーが不均一な可能性があります。その場合は、付属の六角レンチでプレッシャー調整ネジを緩めたり、締めたりして左右均等なプレッシャーになるように調整してください。

テープセットが完了しました。

### 4.3 ヒーターモジュール

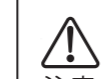
トレー内の水を温め、ガムテープの糊を溶けやすくする機能です。ヒーター温度設定キーでヒーター OFF『H:0 表示』とヒーター ON『H:1 ~ H:5 表示』にし、トレー内の水温を変更できます。ヒーター ON『H:1 ~ H:5 表示』は、ヒーター状態ランプが赤色点灯します。

ヒーター状態ランプ：消灯
ヒターOFF
ヒターON

 ヒーターモジュールは、高温になるので手で触れないでください。本機から離れる場合は、必ずヒーター温度設定キー (-) を押し、H:0 表示にし、ヒーター状態ランプが消灯したことを確認してください。

### 4.4 インターロック機能

本製品は、トップカバーを開くと安全に誤作動を防止するインターロック機能があります。テープセット時、トップカバーを開くとディスプレイ表示は消灯し、メモリーはリセットされます。

 トップカバーを開けるとディスプレイは、消灯しますが、ヒーター ON のままです。ヒーターモジュールに触らないでください。本機から離れる場合は、ヒーター状態ランプが消灯 (ヒーター OFF) であることを確認してください。

## 6 製品仕様

品番	GTD-500TL
表示	LCDデジタル表示
最大テープ幅	80mm
テープの長さ設定範囲	プリセットキー (15,25,35,45,55,65,75,85,95,105cm) 2xキー (プリセットキーと組合せ) <p>＋、－調整キー(+127～128cm) (プリセットキーと組合せ)</p> MAX 232cm(プリセット105と＋キー127cmの組合せ) MIN MIN 10cm(プリセット15と－キー5の組合わせ)
最大テープ外径	220mm
搬出速度	約40cm/秒
適用テープ種類	ガムテープ(水糊)
シーケンスモード	最大5メモリー (タッチレス機能使用時は使いません)
AUTO モード	自動送り自動カット (タッチレス機能使用時は使いません)
駆動	AC モーター AC ソレノイド
消費電力	65W
電源	AC100V 50/60Hz
使用温度・湿度	5℃～40℃ 湿度80%RH以下
外形寸法(W×L×H)	470×330×280mm (付属のセンサー類、作業スペースを含まず)
質量	13.5kg (付属のセンサー類、作業スペースを含まず)
本体材質(カバー)	ABS
センサーユニット品番	UM-CJ01
表示	LCDデジタル表示
使用範囲テープ長	15～180cm
電源	GTD-500TL から供給

※テープの種類・環境により異なりますが、寸法誤差±10mm程度生じる場合があります。
※予告なく仕様、外観の変更をする場合がございます。

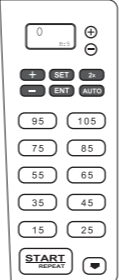
### 4.5 テープカット長の設定

プリセットモード

本製品に初期設定されている長さの中から選んでキーを押すと指定の長さで送り出し、カットします。テープカット長のキー入力方法は 3 パターンあります。

①プリセットキー (15 ~ 105) を使用して入力する場合

設定したいカット長が予めプリセットされている 15cm,25cm,35cm…の場合は、該当するプリセットキー (15 ~ 105) を押すとテープを送り出し、カットします。設定後は START/REPEAT キーを押すことで設定した数値で送り出し、カットします。
※電源スイッチを OFF にすると設定値は、リセットされます。
※トップカバーを開け開めすると設定値は、リセットされます。

	プリセットキー	カット長
15	15	15cm
25	25	25cm
35	35	35cm
45	45	45cm
55	55	55cm
65	65	65cm
75	75	75cm
85	85	85cm
95	95	95cm
105	105	105cm

②カット長加算 (+) キー、カット長減算 (-) キーを使用して入力する場合

カット長を 1cm 単位で設定したい場合は、カット長加算 (+) キー、または、カット長減算 (-) キーとプリセットキー (15 ~ 105) を組み合わせることが可能です。設定後は START/REPEAT キーを押すと設定した数値で送り出し、カットします。

入力例 1) 26cm 設定にする場合
カット長加算 (+) キー で『1』を表示させ、プリセットキー (25) を押す。


入力例 2) 71cm 設定にする場合
カット長減算 (-) キーで『－4』を表示させ、プリセットキー (75) を押す。

※プリセットキーを先に押すと送り出し、カットしてしまうため、先にカット長加算 (+) キーもしくは、カット長減算 (-) キーを押し、次にプリセットキーを押してください。

※電源スイッチを OFF にすると設定値は、リセットされます。

※トップカバーを開け開めすると設定値は、リセットされます。

## 7 こんなときは

 異常がある場合は、ご自分で修理しないでください。異常作動などにより、けがをすることがあります。

こんなときは	考えられる原因	処置
テープが出てこない	テープ経路に貼り付いている。	本体に貼り付いてしまったテープはアルコールを塗布し乾ら <span></span> い布で拭いて除去してください。
テープが詰まりやすい	センサーユニット、ベルトスイッチユニットが正しく設置されていない。	正しく設置直してください。別紙の付属センサー取扱説明書をご参照ください。
	カット設定が短すぎる。(9cm 以下)	カット設定長は必ず 10cm 以上で設定してください。
テープが詰まりやすい	テープ経路にテープが残っている。	トレーを外して、ピンセットでテープを除去してください。
	ブラシセットが消耗している。	ブラシセットは消耗品です。毛先が摩耗し短くなっていたり、毛先の形が倒れている可能性があります。ブラシセットを新品と交換してください。
オートモードでテープが自動で出てこない	テープ経路にテープが残っている。	トレーを外して、ピンセットでテープを除去してください。
	センサーが故障している。	販売店へご相談ください。
ディスプレイが表示されない	トップカバーが開いている。	インターロック機能が作動している <span></span> のでトップカバーを開けてください。
	インターロックスイッチが故障している。	主電源が ON で蓋を閉めてもディスプレイが表示されない場合はインターロックスイッチが故障している可能性があります。販売店へご相談ください。
	ディスプレイ、基板が故障している。	販売店へご相談ください。
動作しない	モーターが故障している。	販売店へご相談ください。
	基板が故障している。	販売店へご相談ください。


異常な場合は、お客様相談室または販売店にご相談ください。故障の場合は、保証規定によりアフターサービスを承ります。

**お客様相談室** ☎043-214-4882  
月曜～金曜 午前 9：00～午後 5：00

③カット長 2x キーを使用して入力する場合


カット長 2x キーを押す事で、『2X』が表示されプリセットの 2 倍の数値を表示させる事が可能です。

例 1) 150cm 設定の場合…カット長 2x キーを押し、プリセットキー (75) を押す。
※プリセットキーを先に押すと送り出し、カットしてしまうため、先にカット長 2x キーを押してください。
※カット長加算、加減キーとの併用はできません。

 本機で使用できる最小カット長は 10cm です。9cm 以下に設定すると本体内部へのテープ詰まりが発生します。

### 4.6 フリーカット

FEED キーを押している間テープを送り出し、FEED キーから指を離すとカットします。

 ベルトスイッチ、センサーユニットと配線接続が完了するまで GTD-500TL の電源スイッチは OFF にしてください。

<使用上のご注意>

・通常 (タッチレス機能) 使用時は、GTD-500TL 本体操作部のボタンを押すことはありませんが必要に応じ、操作部のボタンを押し“プリセットモード”、“フリーカット”が可能です。

・通常 (タッチレス機能) 使用時は、AUTO モード、シーケンスモードは使用できません。

・タッチレス機能を使用せず、GTD-500 (標準機能) をご使用になる場合は、センサーユニット、ベルトスイッチユニットを取り外してください。

GTD-500 の取扱説明書は、メーカーのホームページからダウンロードできます。  
[www.ectinc.co.jp](http://www.ectinc.co.jp)

## 8 保証規定

- 保証期間内に説明書に従った正常な使用にて万一故障した場合は、お買い上げ販売店または当社が無料保証いたします。(※消耗部品は除く。)
- 次のような場合は保証期間内でも有料修理になります。
  - 本保証書のご提示が無い場合。
  - 本保証書の所定事項のご記入が無い場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
  - ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
  - お買い上げ後の輸送・落下等による故障および損傷。
  - 火災・地震・風水害その他天災地変による故障および損傷。
  - 異常電圧・指定外の使用電源 (電圧・周波数) による故障および損傷。
  - 特殊なテープのご使用による、走行不良・カット長の異常。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。

<b>ECT</b> <sup>®</sup>	<b>テープディスペンサー 保証書</b>
お客様の正常なご使用状態で万 <span></span> 一故障した場合は、本保証書記載内容により、無料修理いたします。(※消耗部品は除く。) 修理は、お買い上げの販売店または当社に必ず本保証書を添えてご依頼ください。 This warranty is only valid in Japan.	
品番：	GTD-500TL
製造番号：	
保証期間：お買い上げ日より 6 ヶ月	_____年 ____月 ____日～ _____年 ____月 ____日
お客様： ご住所	
お名前	様
電話番号	
販売店： 住所	
店名	
電話番号	
	印

※お買い上げの際、販売店で必ずご記入ください。

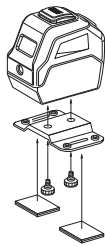
**株式会社エクト** [www.ectinc.co.jp](http://www.ectinc.co.jp)

千葉工場 〒264-0025 千葉県千葉市若葉区都賀2-18-5 本 社 〒171-0022 東京都豊島区南池袋 3-13-8 4F  
TEL 043-214-4882 TEL 03-5924-6677 (代表)  
FAX 043-214-4883 FAX 03-5924-6456  
e-mail: info@ectinc.co.jp

# 付属センサー 取扱説明書

## 1 センサーユニットの組立

- ① センサーユニットの底面に固定用面ファスナーを2枚貼り付けてください。
- ② センサーユニットとセンサーユニット台をつまみネジ2個で固定してください。
- ③ 作業台に①の面ファスナーと対になるよう、片側の面ファスナーを貼り付けてください。



## 2 センサーユニットの設置と接続

想定される対象(箱)の寸法に対し、十分な作業スペースを確保してください。作業台は平らで安定し、十分な強度を担保していることをご確認ください。

**注意** 作業台が不安定、または強度不足の場合、ベルトスイッチユニットが正しく作動しない可能性があります。

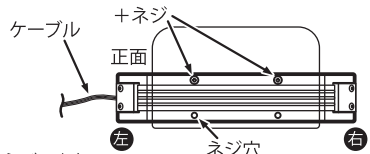
**注意** ベルトスイッチユニット、センサーユニットと配線接続が完了するまで GTD-500TL の電源スイッチは OFF にしてください。

- ① 作業台のベルトスイッチ、センサーユニット、GTD-500TL の各配置位置を決めてください。センサーユニットをベルトスイッチと平行に、180cm 以内の範囲で設置し、センサーユニットと GTD-500TL は 190cm 以内となるように配置してください。

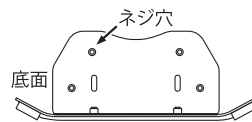
<配置例>



- ② ケーブル位置が邪魔な場合は、右図の固定ネジ(+ネジ2個)を外し、ベルトスイッチの左右を反転させて付け替えてください。



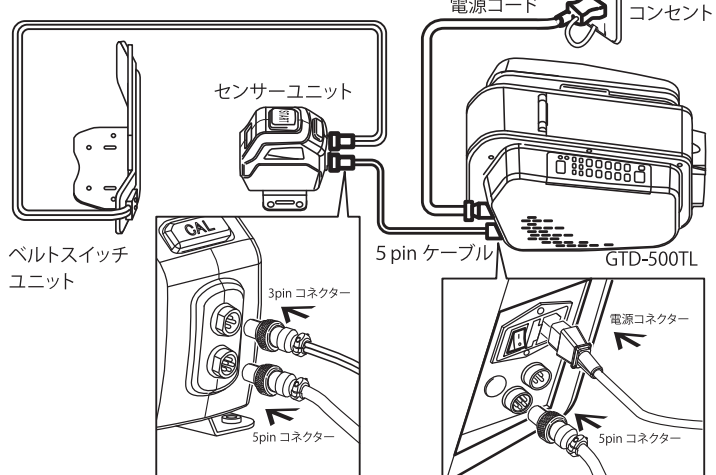
- ③ ベルトスイッチユニットを固定用ネジ(+ネジ4個)、または、固定用面ファスナー4枚を貼って、作業台に固定してください。



- ④ ベルトスイッチユニットのケーブルの先端にある3pin コネクターをセンサーユニットに接続してください。

- ⑤ センサーユニットと GTD-500TL を5pin ケーブルで接続してください。

<配線接続>



製品を作業台上の定めた位置に設置してください。初回設置時は、必ずキャリブレーション(次項)を行ってからお使いください。本書では、作業スペース 80cm の場合を例に説明します。



## 3 キャリブレーション(校正)

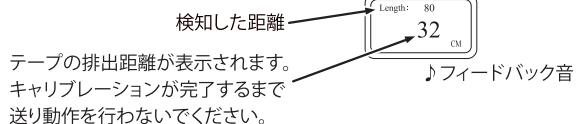
初回設置時は、センサーユニットが箱のサイズを正確に読み取れるよう、キャリブレーションを行ってください。センサーユニットからベルトスイッチユニットまでの距離を校正します。テープをセットしてなくてもキャリブレーションは可能です。

**注意** ベルトスイッチユニットとセンサーユニットの間に障害物を置かないでください。

**注意** 次項の全てのセットアップが完了するまでベルトスイッチユニットの判定部に触れないでください。触れた場合、誤って作動して危険です。

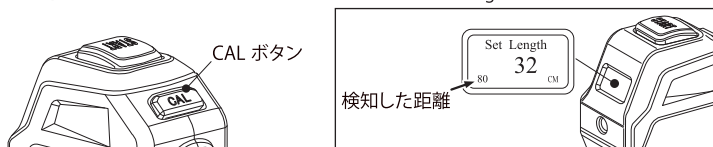
※本書では、作業スペース 80cm の場合を例に説明します。

GTD-500TL の電源スイッチを『ON』にしてください。センサーユニットの LCD ディスプレイと GTD-500TL の LCD ディスプレイが点灯します。



検知した距離  
テープの排出距離が表示されます。キャリブレーションが完了するまで送り動作を行わないでください。

"CAL ボタン" を3回押し、キャリブレーションモードに切り替えてください。この時、センサーユニットの LCD ディスプレイには『Set Length』が表示されます。



電源スイッチを『OFF』にした場合もキャリブレーションを行った状態は維持されます。2回目以降のキャリブレーションは不要です。センサーユニット、ベルトスイッチユニットをわずかも移動した場合は、再度キャリブレーションを行ってください。

もう一度 "CAL ボタン" を押すとセンサーユニットの LCD ディスプレイ中央の数字が左下の数字と同じになり、数値が一致すれば、キャリブレーションは完了です。



"START ボタン" を5秒長押し、キャリブレーションモードを終了してください。校正が完了し、カートンサイズを検知できる状態です。



♪フィードバック音

## 4 マージン寸法の設定

ガムテープのマージン寸法を設定してください。

※工場出荷時のマージンの長さは 15cm (片側 7.5cm) に設定されています。初期設定値のまま使用する場合は、以下の設定は不要です。

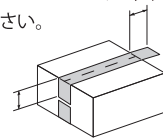


- ① "CAL ボタン" を5秒長押しでマージン調整モードに切り替えてください。この時、LCD ディスプレイには『CPS dimension』が表示されます。

♪フィードバック音

- ② "CAL ボタン" 1回押し +1cm、"START ボタン" 1回押し -1cm でマージン寸法を設定してください。数値を 0cm にするとマージンがなくなりセンサーで検知した距離がテープ送り量です。

マージン寸法



- ③ "START ボタン" を5秒長押し、マージン調整モードを終了してください。マージン寸法の設定が完了し、使用できる状態です。



♪フィードバック音

全てのセットアップが完了しました。

## 5 ご使用

対象の箱をベルトスイッチの判定部(破線で示す)に軽く押し当て離すとテープ送りが開始します。押し当てる際は、箱の平面をベルトスイッチに対し、平行に当てるようにしてください。箱の角部等平行に当たらなかった場合、正しい距離が検知できません。

**注意** ベルトスイッチとセンサーユニットの間に障害物を置かないでください。

